

看護師へ気持ち新たに 蘭

製鉄記念病院 高校生が体験 室

製鉄記念室蘭病院 (松木高雪院長) のふれあい看護体験が23日、知利別町の同病院で開かれ、看護師を目指す高校生が血圧測定や車いす移動、清拭などの業務を通して看護の心を学んだ。

科、整形外科など7科に分かれた。このうち、外科では患者さんの足浴や洗髪を体験した。看護師から「患者さんに痛くないか、どこがかゆいかを確認しながら丁寧に洗って」などと説明を受けた後、生徒たちは緊張した様子でせっけんを泡立て、軽石でやさしく洗った。

西胆振の8校から15人が参加。生徒たちは2、3人で一組となつて産婦人科や循環器

伊達緑丘高校3年の石井美和さんは「患者さんが気持ちよさそうにしてくれていたのがうれしかった。立派な看護師になれるように勉強を頑張りたい」と気持ちを新たにしていた。

(石川綾子)



患者の足浴に挑戦する高校生